

・インドのジカウイルス感染症

インド北部の Rajasthan 州・ジャイプールでジカウイルス感染症の患者が発生しています。10 月末までに患者数は 140 人以上にのぼっており、周辺の Gujarat 州や Madhya Pradesh 州でも患者が確認されました (Journal of Travel Medicine 2018-11-22)。ジャイプールは交通の拠点であり、今後、ジカウイルス感染症の流行がインド全域に拡大する可能性があります (米国 CDC 2018-12-13)。ジャイプールには日本からの観光客も数多く滞在しており、現地では媒介する蚊に刺されない対策など十分な注意が必要です。

・マレーシア・サワラク州の狂犬病

マレーシアのサワラク州では 2017 年 7 月から今年 12 月までに 13 人の狂犬病患者が発生しました (英国 Fit For Travel 2018-12-7)。最近では同州のクチンで 21 歳の男性が狂犬病で死亡しています。マレーシアは狂犬病の患者発生が少ない国とされていますが、サワラク州のあるボルネオ島では注意が必要です。

・アジアの蚊媒介感染症 (デング熱、チクングニア熱)

今年はアジア各国で例年以上のデング熱患者が発生しました。11 月までにタイで 8 万人、フィリピンで 18 万人、カンボジアで 1 万 5000 人の患者が確認されています (Outbreak News Today 2018-12-5,12,14)。また、タイ南部のプーケットなどでは 11 月からチクングニア熱の患者も増加している模様です (Outbreak News Today 2018-12-12)。

・コンゴ民主共和国のエボラ熱

コンゴ民主共和国の北東部で発生しているエボラ熱の流行は 12 月も続いています。12 月 18 日までの累積患者数は 549 人 (疑いを含む) で、毎週約 30 人の患者が発生する状況です (WHO Disease outbreak news 2018-12-20)。今まで患者発生の多かった Beni 地域では流行が鎮静化していますが、その周辺地域で患者発生が増えている模様です。また、今回の流行では女性や小児の患者が従来の

流行よりも多く発生しています((WHO Disease outbreak news 2018-12-6))

・ヨーロッパの麻疹

今年は西欧で麻疹の患者数が増加しています。10月はフランスで68人、イタリアで75人の患者が発生しました(ECDC 2018-12-14)。2017年10月から今年10月までの累積患者数は、ギリシャ、フランス、イタリアでそれぞれ2000人以上になっています。また、東欧のウクライナでも麻疹の流行が発生しており、患者数は4万人以上にのぼっています(ProMED 2018-12-20)。

・北半球の季節性インフルエンザ

北半球の温帯地域では12月に入り季節性インフルエンザの患者数が増加傾向にあります(WHO-Influenza 2018-12-10)。ウイルスの種類はA(H1N1)型が多く検出されています。米国もインフルエンザの流行期に入り、A(H1N1)型の検出が多くみられます(米国 CDC 2018-12-21)。カナダではカルガリーで患者数が急増している模様です(ProMED 2018-12-4)。